

『論語と算盤』読書会



渋沢栄一の本を読んで、
「今」を話し合う読書会です。
2017～18年の参加者を
募集します。



公益財団法人
渋沢栄一記念財団
Shibusawa Eiichi Memorial Foundation

渋沢栄一（1840-1931）は約 500 社の企業の設立に携わり日本近代経済の基盤を築いた一方、600 余りの社会・教育事業を手がけました。幅広い分野で活躍した渋沢は『論語』を行動の拠り所とし、『論語と算盤』という本を残しました。近年では『論語と算盤』の現代語訳本や現代語訳などが相次いで出版され、渋沢の思想から経営、仕事、人生のヒントを得ようとする関連書も多数出版されています。

渋沢栄一記念財団では 2011 年から『論語と算盤』の読書会を開催しています。講師に『現代語訳 論語と算盤』の訳者・守屋淳氏を迎え、毎月 1 回 1 章ずつ取り上げて少人数で内容をじっくり語り合います。11 か月間の読書会終了時には、参加者一人ひとりがアドバイザーとなって『論語と算盤』の読書会を開けるようになることを目指します。『論語と算盤』の愛読者にも、これから読みたいという方にもご参加いただき、その経験を将来的に仕事、教育、研究、生涯学習、人事研修、地域活動などに活かしていただけることを願っています。



監修・講師 守屋 淳

1965 年東京生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。大手書店勤務を経て、現在は中国古典、主に『孫子』『論語』『老子』『莊子』『韓非子』などの知恵を現代にどのように活かすかをテーマとした執筆や企業での研修・講演を行う。『現代語訳 渋沢栄一自伝』『渋沢栄一の「論語講義」』（平凡社新書）『現代語訳 論語と算盤』（ちくま新書）『ビジネス教養としての「論語」入門』、『最高の戦略教科書 孫子』（日本経済新聞出版社）など。 ホームページ <http://chineseclassics.jp/>

日 程	2017 年 9 月～2018 年 7 月 毎月第 3 水曜日（3 月のみ木曜日） 全 11 回 2017 年 ①9 月 20 日 ②10 月 18 日 ③11 月 15 日 ④12 月 20 日 2018 年 ⑤1 月 17 日 ⑥2 月 21 日 ⑦3 月 22 日（木） ⑧4 月 18 日 ⑨5 月 16 日 ⑩6 月 20 日 ⑪7 月 18 日
時 間	午後 7 時～9 時
場 所	渋沢史料館（東京都北区西ヶ原 2-16-1、最寄り駅：JR 京浜東北線 王子駅、東京メトロ南北線 西ヶ原駅）
募集人数	約 30 人
参 加 費	無料
内 容	第 1 回…渋沢栄一と『論語』についての講義、渋沢史料館見学 第 2～11 回…『論語と算盤』全 10 章から毎回 1 章ずつ取り上げ、参加者全員でディスカッション ①～⑦回：守屋 淳（作家）（⑧～⑩回はゲストモデレーターを予定しています。） 渋沢栄一や『論語と算盤』に関心があり、読書会での経験を仕事、教育、研究、生涯学習、人事研修、地域活動などに活かしていこうという具体的な目標をお持ちの方。原則、全回参加可能な方。
講 師	
対 象 者	
申込方法	申込書に必要事項をご記入の上、メール、ファックス、郵便で事務局までお送り下さい。 応募人数多数の場合は、講師と事務局で参加者の選考を行います。
	<u>申込締切：2017 年 8 月 21 日（月）必着</u>

申込み・問合せ（事務局） 公益財団法人 渋沢栄一記念財団 研究センター
〒114-0024 東京都北区西ヶ原 2-16-1 Tel. 03-3910-2314 Fax. 03-3910-2849
E-mail: researchcenter@shibusawa.or.jp <https://www.shibusawa.or.jp>